

田原市狭あい道路解消に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、田原市内における建築行為等に係る後退用地を確保及び整備し、狭あい道路の解消を促進するために必要な事項を定めることにより、市民の住みよい生活環境の確保と安心で安全なまちづくりを図ることを目的とする。

(用語の定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 狭あい道路 建築基準法（昭和25年法律第201号。以下「法」という。）第42条第2項の規定により特定行政庁が指定した道路又は市長がこの要綱を適用する必要があると認めた道をいう。
- (2) 後退線 法第42条第2項の規定又は市長が別に定めるところにより道路の境界線とみなされる線をいう。
- (3) 後退用地 狭あい道路の後退線とこれに接続する土地の境界線との間にある土地をいう。
- (4) すみきり用地 道路が同一平面で交差し、若しくは接続し、又は屈曲する箇所（交差点、接続又は屈曲により生ずる内角が120度以上の場合は除く。）に設ける角地の隅角を挟む三角形の部分を用いる。ただし、前面道路の幅員が4メートル以上の場合は、その道路境界線により、狭あい道路の場合は、その後退線により構成する部分を用いる。
- (5) 道路用地 後退用地及びすみきり用地のことをいう。
- (6) 所有権者等 後退用地の所有権者、借地権者、抵当権者その他土地について使用又は処分の権限を有する者をいう。
- (7) 建築物等 法第2条第1号に規定する建築物及びこれに付属するよう壁、植栽等をいう。
- (8) 建築行為等 建築物等を建築又は築造することをいう。
- (9) 建築主 狭あい道路に接する土地において建築行為等を行う者をいう。

(事業)

第3条 この要綱において狭あい道路解消事業とは、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

- (1) 建築主又は所有権者等が測量及び分筆の登記等により道路用地を明らかにし、道路用地を示す杭を設置するとともに、道路用地内に建築物等がある場合はこれを除却し、当該道路用地を市へ所有権移転する事業
- (2) 市へ所有権移転をした道路用地について一般の通行の用に供するために整備を行う事業（市へ所有権移転が完了する前に当該道路用地について整備するものも含む。）

(協議)

第4条 建築主又は所有権者等（以下「建築主等」という。）は、狭あい道路に接する土地において、前条に規定する狭あい道路解消事業を行おうとするときは、あらかじめ市長とその内容を協議しなければならない。

- 2 法第6条第1項（法第88条において準用する場合を含む。）の規定による確認を受けようとする建築主は、あらかじめ市長とその内容を協議するよう努めるものとする。
- 3 前2項に規定する協議を行おうとする建築主等（以下「申請者」という。）は、後退用

地に関する事前協議書（様式第1号）に次に掲げる図書を添え、市長に提出するものとする。

- (1) 位置図（1／2, 500程度）
- (2) 公図
- (3) 道路後退計画図（道路構造及び給排水管の配管図含む。）
- (4) その他市長が必要と認める書類

4 市長は、前項の後退用地に関する事前協議書の提出があったときは、速やかにその内容を審査し、又は必要に応じて申請者と協議し、その内容が適当であると認めたときは、後退用地に関する協議済書（様式第2号）により申請者に通知するものとする（事業に関する補助金）

第5条 市長は、第3条に規定する狭あい道路解消事業に関し、次の各号に掲げる費用の一部を当該各号の補助金として交付することができる。

- (1) 本市へ所有権移転する道路用地の測量及び分筆登記に要する費用
- (2) 本市へ所有権移転し、又は所有権移転した道路用地を整備する費用

2 次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の補助金の対象としない。

- (1) 狭あい道路が「建築確認申請に係る道路の確認及び私道の寄附受納に係る事務取扱要領」第2条第2項によりみなされた道の場合
- (2) 市税の滞納がある場合
- (3) 暴力団を始めとする反社会的活動を行う組織及び構成員が行う場合
- (4) 宗教活動や政治活動を目的として事業を行う場合
- (5) 本要綱の施行以前に田原市における建築行為に係る後退用地に関する事務取扱要領に基づく事業を受けた場合又は本要綱に基づき補助金等の交付を受けた土地若しくは第19条に該当した土地である場合
- (6) 土地の販売目的で事業を行う場合
- (7) その他市長がこの要綱を適用することが適当でないとした場合（補助金の交付対象者及び金額）

第6条 補助金の交付対象者は、第3条に規定する狭あい道路解消事業を行う者のうち、第4条第4項の協議済書の通知を受け事業を実施する者とする。

2 補助金の額は、別表の規定により算出して得た額とする。

（補助金の交付申請）

第7条 補助金の交付を受けようとする申請者（以下「補助金申請者」という。）は、第3条に規定する事業に着手する前に田原市狭あい道路解消事業補助金交付申請書（様式第3号）を市長に提出しなければならない。

2 前項の申請書を提出する場合は、次に掲げる図書を添付するものとする。

- (1) 位置図（1／2, 500程度）
- (2) 施工計画図
- (3) 写真
- (4) 公図
- (5) 土地登記事項証明（全部謄本）
- (6) 市税の滞納をしていない証明書
- (7) その他市長が必要と認める図書

3 市長は、田原市狭あい道路解消事業補助金交付申請書を先着順に受け付けるものとし、予算の範囲を超えるときは受付を停止することができる。

(補助金の交付決定)

第8条 市長は、前条第1項に規定する補助金の交付申請があった場合、速やかにその内容を審査し、適当であると認めるときは、補助金の交付を決定し、その旨を田原市狭あい道路解消事業補助金交付決定通知書(様式第4号)により補助金申請者に通知するものとする。

2 市長は、前項に規定する補助金の交付決定に当たり、必要があると認めるときは、条件を付すことができる。

(補助金の変更交付申請)

第9条 補助金申請者は、補助金の交付の決定を受けた事業に要する経費に20パーセントを超える額の増減がある場合は、田原市狭あい道路解消事業補助金変更交付申請書(様式第5号)により市長に申し出なければならない。

2 前項の申請書を提出する場合は、交付決定数量等及び変更申請数量等が記載された次に掲げる変更に必要な図書を添付するものとする。

- (1) 田原市狭あい道路解消事業補助金交付決定通知書
- (2) 変更施工計画図
- (3) 理由書
- (4) その他市長が認める図書のうち変更部分がわかるもの

(補助金の変更交付決定)

第10条 市長は、田原市狭あい道路解消事業補助金変更交付申請書を受理したときは、速やかにその内容を審査し、適当と認められる場合は、田原市狭あい道路解消事業補助金変更交付決定通知書(様式第6号)により、当該補助金申請者に通知するものとする。

2 市長は、前項に規定する補助金の交付決定に当たり、必要があると認めるときは、条件を付すことができる。

(申請の取下げ)

第11条 補助金申請者は、補助金の交付の申請を取り下げる場合は、田原市狭あい道路解消事業補助金交付申請取下げ書(様式第7号)により市長に申し出なければならない。

(登記完了通知)

第12条 市長は、道路用地の所有権が本市へ移転完了を確認した場合は、速やかに申請者へ登記完了の通知をしなければならない

(完了届の提出)

第13条 第8条又は第10条の規定により補助金の交付決定を受けた者は、補助対象事業が完了したときは、当該完了した日から30日以内又は当該年度の3月31日のいずれか早い日までに完了届(様式第8号)及び次に掲げる図書のうち必要な図書を提出するものとする。

- (1) 測量分筆登記費用が記載された領収書及び内訳書の写し
- (2) 道路整備竣工図(出来高数量を記載)
- (3) 工事写真
- (4) その他市長が必要と認める図書

2 前項に規定する完了した日とは、次の各号のうちいずれか遅い日とする。

- (1) 道路用地の本市への所有権の移転が完了した通知を受けた日
- (2) 道路整備工事が完了した日
(補助金交付の確定)

第14条 市長は、完了届を受理した場合は、速やかに内容を審査し、適当と認められる場合は、田原市狭あい道路解消事業補助金交付確定通知書（様式第9号）により当該申請者に通知し、補助金の額を確定するものとする。

（補助金の請求）

第15条 申請者は、前条の通知を受けた者は、田原市狭あい道路解消事業補助金請求書（様式第10号）を速やかに市長へ提出しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定により請求があったときは、速やかに補助金を交付するものとする。

（道路用地の寄附）

第16条 市長は、次の各号のすべての要件を満たすものは、道路用地として寄附を受けるとする。

- (1) 第4条第4項の協議済書の通知を受けた場合
- (2) 道路用地の境界が確定し、現地に境界杭等の表示があること。
- (3) 道路用地内に設置してある工作物及び地下埋設物を撤去又は移設が完了していること。ただし、道路占用許可等を受けている工作物については、この限りでない。
- (4) 道路用地の所有権移転に先立ち分筆、相続及び所有権以外の権利抹消等の登記が完了していること。

- 2 申請者が前項に規定する寄附を行おうとするときは、道路用地寄附申込書（様式第11号）により、市長に寄附を申し込むものとする。

- 3 前項の申込書には、次に掲げる図書を添付するものとする。

- (1) 登記原因証明情報及び登記承諾書
- (2) 印鑑登録証明書

（道路用地の買取り）

第17条 市長は、次の各号のすべての要件を満たすものは、道路用地として買取りできるものとする。

- (1) 第3条に規定する事業に該当する場合
- (2) 道路用地の境界が確定し、現地に境界杭等の表示があること。
- (3) 道路用地内に設置してある工作物及び地下埋設物を撤去又は移設が完了していること。ただし、道路占用許可等を受けている工作物については、この限りでない。
- (4) 道路用地の所有権移転に先立ち分筆、相続及び所有権以外の権利抹消等の登記が完了していること。

- 2 道路用地の買取りの金額は、別表に規定する方法に従って算出した額を限度額とする。

- 3 補助金申請者が第1項の規定を受ける場合は、第8条に規定する補助金交付決定通知後、速やかに道路用地買取り申出書（様式第12号）により、市長へ買取りを申し込むものとする。

- 4 市長は、前項の道路用地買取り申出書が提出された場合は、予算の範囲内において、速やかに別途「土地売買契約書」により契約を締結するものとする。

- 5 前項の土地売買契約を締結するときは、次に掲げる図書を提出するものとする。

- (1) 登記原因証明情報及び登記承諾書
- (2) 印鑑登録証明書
(瑕疵担保期間)

第18条 市長は、第12条の規定により所有権が移転した道路用地及びその道路構造物に重大な瑕疵があると認めるときは、申請者に対し当該瑕疵の補修を命ずることができる。

- 2 前項に規定する瑕疵の補修を命ずることができる期間は、道路用地の所有権が移転した日の翌日から起算して2年以内に限るものとする。
(補助金の取消し)

第19条 市長は、第8条又は第10条に規定する補助金の交付決定がなされた者又はその交付を受けた者が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該補助金の交付決定を取り消すものとする。

- (1) 偽りその他不正の手段により、補助金の交付を受けようとし、又は受けたことが判明したとき。
- (2) この要綱の規定に違反したとき。

- 2 市長は、前項の規定により補助金の交付の決定を取り消す場合は、田原市狭あい道路解消事業補助金取消決定通知書(様式第13号)により通知するものとする。
(補助金の返還)

第20条 市長は、前条の規定により補助金の交付を取り消した場合において、既に補助金が支払われているときは、当該補助金の全部又は一部の返還を請求するものとする。

- 2 前項の規定に基づき補助金の返還を命ぜられた者は、当該請求の日から起算して30日以内に返還しなければならない。
- 3 補助金の返還を命ぜられた者が前項の期間内に返還しないときは、田原市補助金交付要綱第13条の規定に準じた遅延利息を納付しなければならない。
(適用の除外)

第21条 次の各号のいずれかに該当する場合は、本要綱の規定は適用しない。

- (1) 国、公共団体、公社、独立行政法人等の公的団体が行う事業
- (2) 都市計画法(昭和43年法律第100号)第29条の規定に基づく開発許可を受けようとするもののうち、自己の居住の用に供する住宅の建築の用に供する目的で開発許可を受けようとするもの以外のもの
- (3) 土地区画整理法(昭和29年法律第119号)の規定による土地区画整理事業
- (4) 法第42条第1項第5号の規定による道路の位置の指定を伴う事業
(補則)

第22条 この要綱に定めのないものは、田原市補助金交付要綱に定めるところによる。

- 2 この要綱の運用上前項に基づくことができない場合は、市長がその都度定めるものとする。
- 3 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成32年3月31日限り、効力を失う。

- 3 この要綱の施行に伴い、田原市における建築行為に係る後退用地に関する事務取扱要領（以下「要領」という。）を廃止する。
- 4 この要綱は、平成26年4月1日以降に提出された協議書について適用し、同日前に提出されたものについては、なお従前の要領の例による。

附 則

- 1 この要綱は、平成29年3月31日から施行する。

別表（第6条関係）

項目	内容		金額
測量分筆補助金	測量及び分筆費		測量及び分筆費用の1/2以内とし、1件につき250,000円を限度額とする。
道路整備補助金	アスファルト舗装：下層路盤に再生砕石（RC-40）又は砕石（C-40）を10cm、表層に再生密粒度アスコン（TOP13）を5cm		1㎡につき2,900円
	コンクリート舗装：下層路盤に再生砕石（RC-40）又は砕石（C-40）を10cm、表層にコンクリート（JISA5308 レディーミックスクンクリート 24-8-25BB（水セメント比55%以下））を10cm		1㎡につき4,200円
	砕石敷き：表層として再生砕石（RC-40）又は砕石（C-40）を10cm		1㎡につき500円
	道路側溝：スリット型：300A以上		1mにつき10,800円
道路用地取得金	道路法第3条第4号に該当する道路		1㎡につき路線価を乗じた額
	道路法第3条第4号に該当しない道路	通り抜け可能	1㎡につき路線価を乗じた額
		行き止まり	1㎡につき2,000円

備考

- 1 施工する道路整備の範囲は、道路用地内とし、隣接道路と同等の整備を行うものとする。
- 2 道路側溝は、既設側溝の移設及び取替の場合又は隣接道に設置されている既設側溝の延伸の場合のみ補助金の対象とする。
- 2 通り抜け可能とは、道路運送車両法で規定される小型自動車（四輪以上）で通り抜けができることが可能である。
- 3 補助金の合計額に百円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てる。
- 4 路線価とは、申請年度の固定資産税路線価である。
- 5 道路用地取得金の合計額に円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てる。
- 6 道路用地取得金について、土地所有権者が地方自治法第260条の2第1項の認可を受けた地縁による団体であるときは、田原市用地買収価格の特例算定要領による。

後退用地に関する事前協議書

年 月 日

田原市長 殿

申請人 住 所 〒 _____

(建築主) 氏 名 _____ (印)

電 話 (_____) _____

田原市狭あい道路解消に関する要綱第4条の規定に基づき、後退用地について協議します。

土地所有者	住所 氏名 _____ (印) 電話 (_____) _____ (※申出人と同一の場合は記入不要)		
代理人	住所 氏名 _____ (印) 電話 (_____) _____		
建築敷地等の概要	土地の所在地	田原市	
	道路の種別	<input type="checkbox"/> 市認定道路 <input type="checkbox"/> 里道(赤線) <input type="checkbox"/> 市有地 <input type="checkbox"/> その他(_____)	
後退用地	道路後退幅	<input type="checkbox"/> 道路中心線から2.0m <input type="checkbox"/> 対面道路境界線から4.0m	
	後退用地の所有権	<input type="checkbox"/> 市へ寄附 <input type="checkbox"/> 市で買取 <input type="checkbox"/> 自己	
	後退用地内の工作物	<input type="checkbox"/> 有〔具体的に： _____ 〕 <input type="checkbox"/> 無	
道路整備希望※2	<input type="checkbox"/> 市施工 <input type="checkbox"/> 申請者施工		
着手予定	年 月 頃	完了予定※3	年 月 頃
自己管理の理由			

※1 添付書類 位置図(1/2, 500程度)、公図、道路後退計画図(給排水管の配管図含む)、その他市長が必要と認める書類

※2 市へ寄附又は買取を希望する場合のみ記載

※3 完了予定とは建築物等の工事完了の日又は道路用地の測量分筆完了の日

様式第2号（第4条関係）

後退用地に関する協議済書

第 号
年 月 日

様

田原市長



年 月 日付けで協議がありました後退用地については、下記のとおり同意したので、通知します。

記

道路後退計画に付する条件 有・無

条件：

田原市狭あい道路解消事業補助金交付申請書

年 月 日

田原市長 殿

申請者 住所
氏名

田原市狭あい道路解消に関する要綱第7条に基づき補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

申 請 地	田原市
1 測量分筆補助対象数量	
(1) 分筆数	筆
2 道路整備補助対象数量	
(1) 舗装面積	(AS、Co、碎石) m ²
(2) 側溝延長	m
3 道路用地寄附（買取）面積	m ²

(添付書類)

位置図（1／2，500程度）、施工計画図、写真、公図、土地登記事項証明（全部謄本）、市税の滞納をしていない証明書、その他市長が必要と認める図書

田原市狭あい道路解消事業補助金交付決定通知書

第 号
年 月 日

様

田原市長



年 月 日付けで交付申請された田原市狭あい道路解消事業補助金交付申請については、下記のとおり交付することに決定したので、通知します。

記

1 補助事業に要する経費及び補助金交付決定額

測量分筆補助金	金	円
道路整備補助金	金	円

2 補助金の交付条件 有・無

条件： _____

3 補助金交付決定額 金 円

田原市狭あい道路解消事業補助金変更交付申請書

年 月 日

田原市長 殿

申請者 住所
氏名

土地所有者 住所
氏名

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けましたが、田原市狭あい道路解消に関する要綱第9条に基づき補助金の変更交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

申 請 地	田原市
1 測量分筆補助対象数量	
(2) 分筆数	筆
2 道路整備補助対象数量	
(1) 舗装面積	(AS、Co、碎石) m ²
(2) 側溝延長	m

(添付書類)

変更交付申請書提出時の交付決定通知、変更施工計画図、理由書、その他市長が必要と認める図書のうち変更部分がわかるもの

田原市狭あい道路解消事業補助金変更交付決定通知書

第 号
年 月 日

様

田原市長



年 月 日付けで変更交付申請された田原市狭あい道路解消事業補助金変更交付申請については、下記のとおり交付することに決定したので、通知します。

記

- 補助事業に要する経費及び補助金変更交付決定額
測量分筆補助金 金 円
道路整備補助金 金 円
- 補助金の交付条件 有・無
- 補助金交付決定額 金 円

様式第7号（第11条関係）

田原市狭あい道路解消事業補助金交付申請取下げ書

年 月 日

田原市長 殿

（申請者）住所

氏名

⑩

年 月 日付けで田原市狭あい道路解消事業補助金（変更）交付申請書を提出しましたが、下記の理由により取下いたします。

記

1 土地の所在

田原市

2 取下理由（具体的に）

完 了 届

年 月 日

田原市長 殿

(申請者) 住所
氏名

印

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた田原市狭あい道路解消事業が下記のとおり完了したので提出します。

記

- | | | |
|-----------|----------|------------------|
| 1. 測量分筆登記 | 件 | |
| 2. 道路整備工事 | アスファルト舗装 | . m ² |
| | コンクリート舗装 | . m ² |
| | 敷き砕石 | . m ² |
| | 側溝 | m |

(添付書類)

測量分筆登記費用が記載された領収書及び内訳書の写し、道路整備竣工図（出来高を記載）、工事写真、その他市長が必要と認める図書

田原市狭あい道路解消事業補助金交付確定通知書

第 号
年 月 日

様

田原市長



年 月 日付で完了届のあった田原市狭あい道路解消事業補助金については、下記のとおり交付を確定したので通知します。

記

1	補助金交付確定額		
	測量分筆補助金	金	円
	道路整備補助金	金	円
2	補助金交付決定額	金	円

様式第10号（第15条関係）

田原市狭あい道路解消事業補助金請求書

年 月 日

田原市長 殿

申請者 住所

氏名

印

田原市狭あい道路解消事業補助金を、下記のとおり請求します。

記

1 交付決定額 金 円

2 支払方法 口座振込

金融機関名			
支店名			
預金種別	普通 当座	口座番号	
口座名 (カタカナ)			

様式第11号(第16条関係)

道 路 用 地 寄 附 申 込 書

年 月 日

田原市長 殿

土地所有者 住所

氏名

印

下記の土地を 道路用地 として寄附したいので、関係書類を添えて申し込みます。

記

土地の表示 田原市				
小字	地番	地目	寄附面積 (㎡)	備考 (土地所有者)
	番			
	番			
	番			
	番			

添付書類 登記原因証明情報及び登記承諾書、印鑑登録証明書

様式第12号(第17条関係)

道 路 用 地 買 取 申 出 書

年 月 日

田原市長 殿

土地所有者 住所

氏名

印

下記の土地を 道路用地 として売却したいので申し込みます。

記

土地の表示 田原市				
小字	地番	地目	売却面積 (㎡)	備考 (土地所有者)
	番			
	番			
	番			
	番			

様式第13号（第19条関係）

田原市狭あい道路解消事業補助金取消決定通知書

第 号
年 月 日

様

田原市長 印

年 月 日付け 第 号で決定した田原市狭あい道路解消事業補助金については、下記のとおり取消しを決定したので、通知します。

記

- 1 取消しの理由 _____
- 2 取消した補助金の額 金 円
- 3 補助金の返還期限 通知日から起算して30日以内

※項目は必要に応じて加除すること。